

機能アップガイド

Ver.4.10



- Microsoft Exchange Onlineの基本認証「SMTP認証」の廃止に伴い、先進認証「OAuth 2.0」に対応しました。

当製品は、メールを送信する機能でExchange Onlineの基本認証「SMTP認証」を使用できますが、Microsoft社のサポート終了に伴い2025年9月以降は無効になるため、先進認証「OAuth 2.0」に対応しました。

業務スケジュール実行後の完了通知などのメールが送信できなくなるため、先進認証「OAuth 2.0」に設定を変更します。

詳細は、[こちら](#)をご参照ください。

《 関連メニュー 》

[管理ツール]-[メールサーバー設定]メニュー

機能アップガイド

Ver.4.09



【商奉行 i の機能アップ内容】	
《改正情報》	
『申告奉行[内訳書・概況書編]』ヘデータ連動する場合に、追加項目に対応しました。	2
【蔵奉行 i の機能アップ内容】	
《改正情報》	
『申告奉行[内訳書・概況書編]』ヘデータ連動する場合に、追加項目に対応しました。	2
令和 5 年10月 1 日施行のインボイス制度に関連して追加対応をしました。	3
《仕入管理》	
アップロードできる証憑の上限ファイルサイズを10MBから20MBに変更しました。 ＜『証憑保管オプション for 奉行シリーズ』をお使いの場合＞	3

商奉行 i の機能アップ内容

《改正情報》

- 『申告奉行[内訳書・概況書編]』へデータ連動する場合に、追加項目に対応しました。

『申告奉行[内訳書・概況書編]』の勘定科目内訳明細書が様式変更され、「登録番号（法人番号）」の項目が追加されました。

当製品の〔得意先登録〕メニューで入力されている得意先名や住所とともに、インボイス登録番号も連動されます。

《関連メニュー》

[随時処理]-[奉行連動データ作成]-[内訳書データ作成]メニュー

蔵奉行 i の機能アップ内容

《改正情報》

- 『申告奉行[内訳書・概況書編]』へデータ連動する場合に、追加項目に対応しました。

『申告奉行[内訳書・概況書編]』の勘定科目内訳明細書が様式変更され、「登録番号（法人番号）」の項目が追加されました。

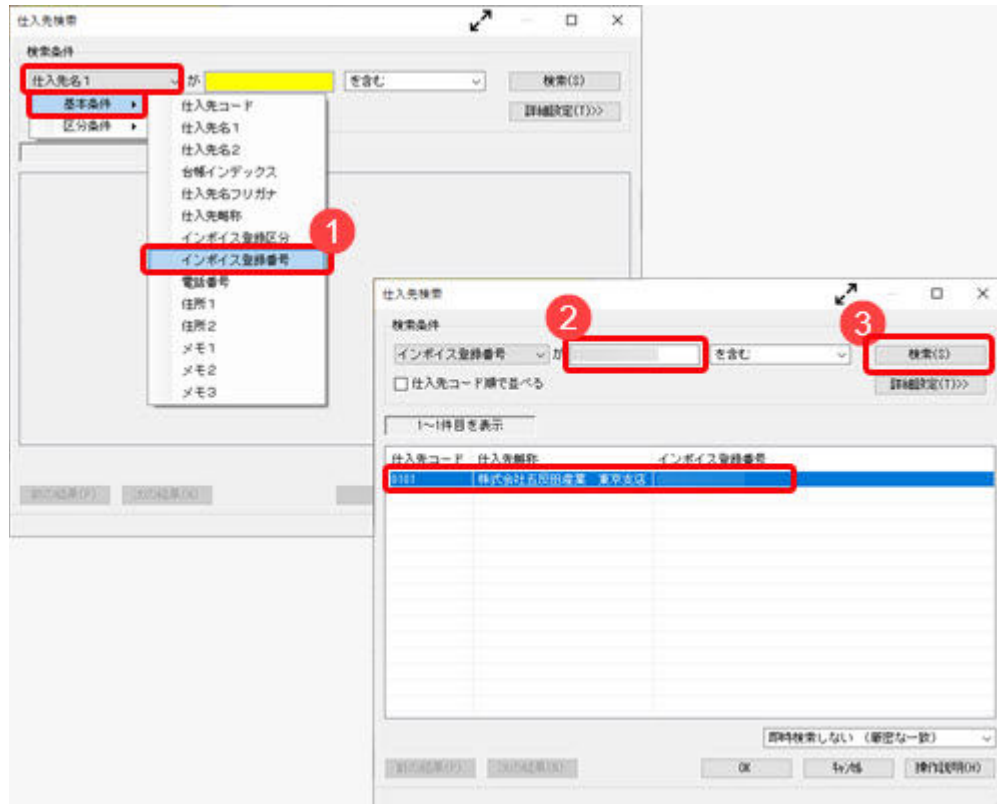
当製品の〔仕入先登録〕メニューで入力されている仕入先名や住所とともに、インボイス登録番号も連動されます。

《関連メニュー》

[随時処理]-[奉行連動データ作成]-[内訳書データ作成]メニュー

- 令和5年10月1日施行のインボイス制度に関連して追加対応をしました。

[仕入先検索]画面で、仕入先マスターをインボイス登録番号で絞り込めるようになりました。



《 関連メニュー 》

[導入処理]-[仕入先登録]-[仕入先登録]メニューなど、仕入先を検索できるすべてのメニュー

《仕入管理》-----

- アップロードできる証憑の上限ファイルサイズを10MBから20MBに変更しました。

<『証憑保管オプション for 奉行シリーズ』をお使いの場合>

《 関連メニュー 》

- ・ [仕入管理]-[仕入処理]-[仕入伝票]メニュー
- ・ [仕入管理]-[支払処理]-[支払伝票]メニュー
- ・ [販売管理]-[売上処理]-[売上仕入同時入力]メニュー（『売上仕入同時入力オプション』をお使いの場合）
- ・ [仕入管理]-[仕入処理]-[仕入伝票証憑一括添付]メニュー
- ・ [仕入管理]-[支払処理]-[支払伝票証憑一括添付]メニュー

機能アップガイド

Ver.4.08 / Ver.4.07



《改正情報》-----

- 令和5年10月1日施行のインボイス制度に追加対応しました。

インボイス制度対応において、8月に提供を予定していた項目に対応します。
対応内容は、「[インボイス制度あんしんSTEPガイド](#)」をご参照ください。

販売管理 仕入・在庫管理システム

商蔵奉行[®]i11

機能アップガイド

Ver.4.06



商奉行 i の機能アップ内容

《改正情報》

- 令和5年10月1日施行のインボイス制度に対応しました。

対応項目は、「インボイス制度運用ガイド」の「当システムの対応ポイント」をご参照ください。

※「インボイス制度運用ガイド」は、セットアップ後に『商奉行』のメニュー画面右上の  をクリックし、[機能追加／改正情報]で確認できます。

蔵奉行 i の機能アップ内容

《改正情報》

- 令和5年10月1日施行のインボイス制度に対応しました。

対応項目は、「インボイス制度運用ガイド」の「当システムの対応ポイント」をご参照ください。

※「インボイス制度運用ガイド」は、セットアップ後に『蔵奉行』のメニュー画面右上の  をクリックし、[機能追加／改正情報]で確認できます。

《仕入管理》

- でんさいネットの機能改善（でんさいの債権金額の下限を1万円以上から1円以上に引き下げ）に対応しました。＜「OMSS」にご加入の場合＞

でんさいネットで受付可能な債権金額の下限が引き下げられ、1円から電子記録債権の発生記録請求ができるようになりました。

これに伴い、電子記録債権の発生記録請求データを1円から作成できるようになります。

《 関連メニュー 》

・ [仕入管理]-[支払処理]-[電子記録債務処理]-[電子記録債務データ作成]メニュー

販売管理 仕入・在庫管理システム

商蔵奉行[®]i11

機能アップガイド

Ver.4.05



商奉行 i ・ 蔵奉行 i 共通の機能アップ内容

- 送り状データ連携が「佐川急便株式会社」の「e飛伝Ⅲ」に対応
＜「OMSS」にご加入の場合＞

送り状データ連携が「佐川急便株式会社」の「e飛伝Ⅲ」に対応しました。

《 関連メニュー 》

- ・ [随時処理]-[送り状発行システム連携]-[送り状データ作成]メニュー
- ・ [随時処理]-[送り状発行システム連携]-[送り状No. 受入]メニュー

商奉行 i の機能アップ内容

- 請求書をファイル転送する際の文字コード変更に対応
＜「OMSS」にご加入の場合＞

連携するサービスにあわせて、「Unicode (UTF-8) 」など文字コードを指定して請求書をファイル転送できるようになりました。

《 関連メニュー 》

- ・ [販売管理]-[請求締処理]-[請求書発行]メニュー
- ・ [販売管理]-[請求締処理]-[請求書再発行]メニュー

販売管理 仕入・在庫管理システム

商蔵奉行[®]i11

機能アップガイド

Ver.4.04



【蔵奉行 i の機能アップ内容】	
《改正情報》	
令和 4 年 1 月施行「改正電子帳簿保存法」に対応	2
仕入伝票・支払伝票に添付されている電子証憑ファイルもあわせて『勘定奉行』に連携できる機能を追加 ＜『証憑保管 for 奉行シリーズ』をお使いの場合＞	2
仕入伝票・支払伝票に添付されている電子証憑ファイルを一括でダウンロードできる機能を追加 ＜『証憑保管 for 奉行シリーズ』をお使いの場合＞	2
メニューの名称を変更 ＜『証憑保管 for 奉行シリーズ』をお使いの場合＞	3

《改正情報》

● 令和4年1月施行「改正電子帳簿保存法」に対応

○帳簿の電磁的記録

当システムを利用するだけで、仕入先元帳（帳簿）を「紙」で保管する代わりに『蔵奉行』のデータ（電磁的記録）で保存できます。

今回整備された「緩和された要件を満たす電子帳簿（その他の電子帳簿）」の法的要件にも対応しています。

○書類の電磁的記録

当システムを利用するだけで、発行した支払明細書や注文書の控えを「紙」で保管する代わりに『蔵奉行』のデータ（電磁的記録）で保存できます。

○スキャナ保存

＜『証憑保管 for 奉行シリーズ』をお使いの場合＞

「紙」で受領した証憑を保管する代わりに、スキャンした証憑ファイルを取り込み、仕入伝票・支払伝票と紐付けて保存できます。

「紙」の証憑を破棄するために定期的に検査する必要がなくなりました。

○電子取引データの保存

＜『証憑保管 for 奉行シリーズ』をお使いの場合＞

電子取引データ（電子請求書や電子納品書・電子見積書）を、仕入伝票・支払伝票と紐付けて保存できます。

自動的にタイムスタンプが付与されるため、煩雑な「事務処理規程」は不要となり、負担なく運用できます。

● 仕入伝票・支払伝票に添付されている電子証憑ファイルもあわせて『勘定奉行』に連携できる機能を追加

＜『証憑保管 for 奉行シリーズ』をお使いの場合＞

『勘定奉行』への仕訳伝票作成時に、伝票に添付されている請求書・納品書・見積書もあわせて連携され制度要件のもとで保管できるようになりました。

《 関連メニュー 》

[随時処理]-[仕訳伝票作成]メニュー

● 仕入伝票・支払伝票に添付されている電子証憑ファイルを一括でダウンロードできる機能を追加

＜『証憑保管 for 奉行シリーズ』をお使いの場合＞

[証憑検査]メニューで、画面表示後ダウンロードします。

《 関連メニュー 》

[随時処理]-[証憑検査]メニュー

● メニューの名称を変更

＜『証憑保管 for 奉行シリーズ』をお使いの場合＞

＜変更前＞[導入処理]-[運用設定]-[証憑保管クラウド連携設定]メニュー

＜変更後＞[導入処理]-[運用設定]-[証憑保管連携設定]メニュー